

会 議 録

会 議 名	令和元年度第 2 回野田市廃棄物減量等推進審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	議案第 1 号 堆肥センターにおける剪定枝等の 焼却処分について 報告事項 指定ごみ袋の容量変更状況について 報告事項 宅配便を利用した小型家電の回収について 報告事項 ごみ分別促進アプリについて
日 時	令和元年 12 月 18 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで
場 所	野田市保健センター 3 階大会議室
出 席 委 員	木村 吉郎 山本 和也 小林 明雄 渡邊 康子 澤田 修 澤田 好子 向井 幸範 内田 亜弥 高須賀 哲子 石原 和子 五百川 和家恵 西村 久行 柴田 貴美 林 元夫 石原富美子 岩本 光善 根本 富雄 渡邊 邦夫 柳沢 享二 藤井 愛子 四方 薫 小川原 喬 池端 えり子 平井 和子 宇佐見 田鶴子 野島 美香
欠 席 委 員	石山 美代子 吉川 眞弘
事 務 局	市長 鈴木 有 副市長 今村 繁 環境部長 柏倉 一浩 清掃計画課長 小沼 京治 清掃管理課長 岡安 雄一 農政課長 平野 健一 清掃管理課主幹兼課長補佐 横張 孝雄 清掃計画課長補佐 金子 正道 農政課長補佐 山中 巖 清掃計画課ごみ減量係長 松井 智生 清掃計画課主任主事 新井 由美 清掃計画課主任主事 赤津 佑樹 農政課主任主事 松崎 哲史 清掃計画課主事 小林 司幸

傍 聴 者	0 名
議 事	令和元年度第 2 回野田市廃棄物減量等推進審議会の会議結果 (概要) は、次のとおりである。
<p>1 開会 金子清掃計画課長補佐 令和元年 1 2 月 1 8 日午後 2 時、開会を宣言した。</p> <p>会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴について説明した。会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>【市長挨拶】</p> <p>3 新任委員・事務局職員紹介 金子清掃計画課長補佐 新任委員および事務局職員について紹介した。</p> <p>4 会長及び副会長の選出 仮議長 指名推薦にて会長及び副会長を選出した。</p> <p>5 会長及び副会長挨拶</p> <p>【会長及び副会長挨拶】</p> <p>(市長退席)</p> <p>6 議事 会長 議案第 1 号の説明を求めた。 金子清掃計画課長補佐 議案第 1 号について説明をした。 会長 議案第 1 号に対し、質問・意見を問うた。</p> <p>A 委員 暫定的に 2 , 0 0 0 トンを焼却することで一人一日当たりのごみ排出量の 2 0 % 削減が達成困難となってしまうが、我々廃棄物減量等推進審議会委員は今後どのよ</p>	

うに対応していけばいいかお聞きしたい。

小沼清掃計画課長

平成30年度時点でごみの減量が9.5%達成できていたが、今回の2,000トン焼却することで3.8%に増えてしまう。これは大きな数字ではあるが、堆肥センターでリサイクルをするという考え方は変わらない。飽くまで焼却は暫定的な措置であり、今の処理計画が令和3年度までであるため、できるだけ早い段階で解決策を見つけたいと思っている。今回の2,000トンは焼却となってしまうが、今の減量ペースを維持して取り組んでいきたいと思う。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

B委員

現在の余剰量2,000トンを清掃工場焼却処分するという点について、皆さんが努力している中で非常に厳しい数字だと思うが、堆肥センターの現状を考えると暫定的な措置もやむを得ないのかなと個人的には思う。確かに今年の数字は大きく下がってしまうが、これは原因・理由がはっきりしている動きだと把握することができるため、致し方ないと思う。昨年は事業者の料金の値上げを実施しているが、先ほどの個人の分も有料にすることも検討しているという発言について、現状の堆肥センターの受入量の中でみどりの収集の回収量、事業者の持込量のデータはあるのか。

金子清掃計画課長補佐

平成30年度の実績で5,262トンが堆肥センターに持ち込まれており、その内訳として、市民の方の持ち込みが2,411トン、事業者の持ち込みが1,253トン、みどりの収集による回収量が1,538トン、その他自治体等の団体からの持ち込みが60トンとなっている。

B委員

ありがとうございました。受入量のうち市民からの持ち込みとみどりの収集で75%を占めているが、これを堆肥化できないとなるとその分可燃ごみが増えるということになるため、その対策が重要であると思う。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

C委員

入ってきた剪定枝を堆肥化したものを搬出しきれなくてたまったということだと思うが、この堆肥はどこかに販売したりしているのか。

平野農政課長

搬出先として、635件の農家に注文に応じて搬出している。畑の場合は一反当たり2トン、田んぼの場合は一反当たり1トンが適正量であるため、搬出量を一気に増やすことが難しいということをお理解いただきたい。

C委員

搬出先の農家は全て野田市内の農家なのか。

平野農政課長

そのとおりです。

C委員

市内で処理しきれないからたまるということだと思うが、市外に搬出するわけにはいかないのか。

平野農政課長

製品化できるのは月に300トン前後が限界である。搬出に当たっては、この製品化も課題になっている。

C委員

処理能力がないということと、搬出先が足りないということだと思うが、余った堆肥を市外に搬出するとか希望者を全国から募って取りに来てもらうことはできないか。

平野農政課長

現状、そういった検討はしていない。今後、できるかどうかということも含めて検討していきたいと思う。

副会長

野田市のホームページで、平成16年に野菜農家を中心にアンケートを取ったところ、堆肥センターを利用している・利用したいという回答が95%あると書いてあるが、ここからだ件数が読み取れない。野田市の農林水産業の基本指針を見ると、野田市内の農家は1,747戸あると書いてあるが、アンケートを取った対象はこの件数なのか。この1,747戸の農家全てが堆肥を使っているのか。もし全ての農家が使っていないなら使っていない農家に対して呼び掛けをして堆肥を使ってもらうことで搬出量を増やせるのではないか。また、堆肥センターの事業は農水省の補助事業としてやっている。農水省の補助事業は使い方の規制があり、農家の人しか配ってはいけなくなっている。自治会の規制緩和の流れの中で補助事業の規制を見直して対象者を拡大することも搬出量を増やす要因にできると思う。あと一点、堆肥センターに持ち込んでいるのは本当に市民だけなのか、そういう分析も早急に行い対応していかないと、一年後も同じことの繰り返しになる。暫定的処理を二度行うのは良くないので、御意見申し上げました。

平野農政課長

大変貴重な御意見ありがとうございました。前向きにいろいろ検討してまいりたいと思います。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

D委員

搬出先の話は出ましたが、処理能力の方を上げることはできないのか。

平野農政課長

現状、堆肥化の期間を十四か月設けているが、製品化への改善も検討してまいりたいと思います。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

今村副市長

すぐに処理能力を上げることは難しく、今のところ決定打となる案はでていないが、搬入の適正化や抜本的な見直しを検討しつつ、暫定的に焼却処分を行いたい。

E 委員

今回の審議会では問題点の確認を行う程度にとどめ、焼却処分の可否の審議を行った方がいいのではないかと。私としては、差し当たり焼却処分を行うのはやむを得ないが、恒久的な対応にならないよう気をつけてもらいたいと思う。

副会長

このまま暫定が続いてしまう可能性があったので将来的な話や問題点を挙げはしたが、事態打開のため暫定的に焼却処分することはやむを得ないと思う。臭いの問題や火災の危険性を考えると、今回は一旦焼却処理し、早急に対応を検討していかざるを得ないと思う。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

B 委員

今回、5,000トンが搬出処分を行い2,000トンは焼却処分となるが、搬入量が減っていない状況であるため、また来年度も5,000トンが搬入されて同様の状況に陥ると思う。来年度についても抜本的な対策を期待するのは難しいと思われるし、仮に来年度しのげても再来年度も同様の状況が発生してしまうことが見込めるのではないかと。対策が追いつきそうにない現状を考えると、もう少し先の年度まで焼却することを頭に入れて考えてもいいのではないかと。

柏倉環境部長

緊急的に農政課でもやらなくてはならないというところではあるが、まずは年度で区切って、皆さんに報告しながら処理ができなければ延長という形を採らせていただきたい。現状ではまず2,000トン、その間に農政課では努力をしていくということで考えています。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

E 委員

野田市の堆肥のブランド化も考えてもらえるといいかと思えます。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

会長

今回に限っては、焼却処分もやむを得ないという意見が多いと思うが、この審議会の存在意義としては、これがずっと続くようなことがないように対応していただければ焼却していいとは言えない。ただ今のやり取りでしっかり対応していただけるということをお答えいただいたと思うので、費用面を含めて効果のある搬入量の抑制策を考えていただけたらと思う。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

F 委員

まず、いろいろな施策を立てていかなければならないなかで、いつまでに、誰が、というところしっかり決めた方が良いと思う。また、私はこの審議会に参加しなければ剪定枝が余っていることは知らなかったと思う。市報はよく見ているが、市報に載っていないことをホームページで一から調べるといことはしていない。こういう情報をもっと市民に発信していただいて、余っている剪定枝を燃やさなければいけない分、皆さんにごみの減量に協力してほしいということを積極的にアピールしていかないとごみは減らないと思う。是非もっと市民に分かりやすく発信していただいて市民の皆さんに協力していただけるような体制を採っていただけないかと思う。

柏倉環境部長

貴重な御意見をありがとうございます。正にいろいろなことで市民に対する周知というのは大事なことなので、減量化を進めるためにいろいろなところで周知の方法を環境部門と考えていきたいと思う。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

会長

議案第1号の堆肥センターにおける剪定枝等の焼却処分について、事務局案のとおりやむを得ず焼却処分することによろしいか。

【異議無し】

会長

ありがとうございます。そのように決定させていただきます。

今村副市長

御検討いただきありがとうございます。今後の検討の結果もこの審議会でも報告させていただいて、検討の方向性について市民の方からの意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長

報告事項1の説明を求めた。

松井清掃計画課ごみ減量係長

報告事項1について説明をした。

(今村副市長退席)

会長

報告事項1に対し、質問・意見を問うた。

副会長

一つの世帯で複数回容量変更することもあるので、並行して袋の容量・枚数でも見ていく必要があるのではないか。

小沼清掃計画課長

何リットル何枚を何リットル何枚にしたかという記録は取っていますので、次回になってしまいますが掲載させていただきます。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

【質問・意見無し】

会長

報告事項2の説明を求めた。

松井清掃計画課ごみ減量係長

報告事項2について説明をした。

会長

報告事項2に対し、質問・意見を問うた。

C委員

小型家電のみの回収では1,500円掛かり、パソコンが入っていれば無料と書いてあるが、なぜパソコンが入っていると無料になるのか。

小沼清掃計画課長

レアメタルの回収を進めていく一環の中で、パソコンはレアメタルが多量に含まれるため、国と提携したリネットジャパンが無料で回収している。

副会長

宅配便回収が始まることで再資協の持込回収がなくなるということはないと思う。車を持っていない家庭には宅配便回収を活用してもらうことで、簡易に回収してもらえ、不法投棄の抑制にもつながると思う。両方の事業を並行して活用してもらおうものと理解している。

A委員

市報で宅配便回収について周知してるが、市報が届いていない人もいると思うので、そういった方々にもアピールできる方法を市で考えていただきたい。

小沼清掃計画課長

市による周知については我々も課題だと思っている。市報による周知がメインになっているが、対象の年齢層に合わせていろいろな周知方法を考えていきたい。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

【質問・意見無し】

会長

報告事項3の説明を求めた。

松井清掃計画課ごみ減量係長

報告事項3について説明をした。

会長

報告事項3に対し、質問・意見を問うた。

副会長

配信開始から間もないのでユーザー数には市の職員が多いのではないかと。もっと一般化するように繰り返し市報でお知らせした方がいいのかなど。若い人にはこれは便利だと思う。ごみの出し方のパンフレットの内容のほとんどが入っているので、パンフレットを持たなくていい。スマホだから拡大して読むこともできる。パンフレットを持ちたくないという人でスマホのことが分かる人たちにはアプリを見るよう案内することもできる。お知らせも入り、ごみの収集日を教えてもらえる。このアプリは使い勝手が良いのではないかと考えている。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

B委員

メニュー画面のごみ等問合せ先の資源回収容器・袋の交換受付に再資協の連絡先が出てきてしまっている。これでは市民個人から再資協に問合せがいきまわり、再資協が対応に困ってしまうと思うので改良をお願いしたい。

小沼清掃計画課長

御指摘ありがとうございます。調整させていただきます。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

会長

アプリをインストールしてくれた方の数を見ると、3日から10日までが350くらい伸びていて、そこから8日ほどで150と落ちてきているので、ここからが勝負だと思う。是非広報を頑張っていただきたい。

会長

ほかに質問・意見を問うた。

【質問・意見無し】

会長

それでは御意見はないようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。

会長

閉会を宣言した。